

令和7年度羽合ひかり園・はしづホーム地域連携推進会議について

- 1 日 時 令和7年12月9日(火)午後1時30分から3時30分まで
- 2 場 所 羽合ひかり園「会議室」
- 3 出席者 (外部委員)4/5名、(羽合ひかり園)5/5名、(はしづホーム)1/1名
- 4 内 容

(1) 羽合ひかり園の現状について

①地域連携推進会議とは

- ・ 入所施設は地域移行、地域連携に取り組んでいるものの閉ざされた世界であるため、第三者の意見をいただき、施設運営に努めていくことを目的に開催するもの。
- ・ 年1回以上の開催と施設見学が義務化されており、今回は第1回目であるため、主として施設の概要を説明させていただくこと。
- ・ 本会議の報告書を当法人のホームページに掲載させていただくこと。

②障がい者支援に係る国の施策

- ・ 以前の障がい者支援は入所施設が中心で、措置制度により利用する施設は市町村が決定していたこと。
- ・ 平成18年の自立支援法の制定により、利用者と施設が利用契約を結ぶことに改められたこと。
- ・ 三障害が一元化されたこと。
- ・ 障害福祉サービスの利用にあたっては受給者証の発行が必要なこと。
- ・ 障害支援区分は1～6まであり、施設入所4以上(50歳以上は3以上)、生活介護3以上(50歳以上は2以上)でないとは利用できないこと。
- ・ ひかり園の平均支援区分は5.6、はしづホームは5.2であること。
- ・ 今後の国の施策としては、地域生活支援を中心と考えていること。

③ひかり園及びはしづホームの概要

- ・ 別添パワーポイント資料により説明。(ホームページ未掲載。)

(2) 施設見学

①羽合ひかり園

②はしづホーム

- ・ ハワイ、アロハ …全員
- ・ ひだまり、こもれび…外部委員2名、はしづホーム職員1名
- ・ あじさい、すずらん…外部委員2名、羽合ひかり園職員1名

○委員のコメント

- ・ ハワイとアロハホームと比べ、他の4ホームは綺麗でバリアフリーが進歩している。
- ・ グループホームで利用者間トラブルはどの質問があり、ひかり園の居室は4人定員、グループホームは個室であり、自分自身のスペースがあることによって激減したと回答する。
- ・ 園内全体やグループホームも初めて見た。良い機会だった。

(3) 各委員からの意見

Q) 今後もグループホームを設置していくのか。

A) 以前は地域の空き家を活用して増やしていったが、各種法令が厳しくなり、地域の空き家で基準を満たす家は激減した。そこで近年は法人が新築した住宅を使用しているが、新築となると早々に建てられない。

また世話人の確保も困難になっている。

以前は4～5名のグループホームが主流だったが、近年は20名程度のグループホームも増えてきており、ひかり園の建替の際には、ひとつの選択肢として考えられる。

Q) グループホーム本来の目的である家庭的な雰囲気とは言えないのではないのか。障がいも多様化してきたように思うが、それぞれの障がいに合った住環境になっているのか。

A) 三障害一元化となったが、精神障がいの方は静かな環境を望まれる方が多いので、その点で望ましい環境とは言えない。また当園は設立以来、重度知的障がいの方を多く支援してきたので、その方への支援の蓄積はあるが、精神障がい者への支援は充分でないこと、また、医療機関との連携が重要となるが、当法人は医療機関を運営していないので、その点でも弱いところである。

Q) 待機者の状況はどうか。

A) 待機者は約40名だが、半分の方は正直当園かな？と思う方。ただ職員の話は大体がそういう話になるので、皆さんの話を聞いて振り返る機会としたい。

Q) 地域との連携が重要だが、近隣住民との関わりはどうか。

A) 以前は地域の交流会や防災訓練、また運動会にも参加していたが、新型コロナの流行により途切れた。そもそも地域行事自体が減少している。

Q) こども園との交流は？

A) 以前は芋掘り等の交流会を実施していた。今後は待ちの姿勢ではなく、園からの情報発信に努めていきたい。

A) 当法人の施設は県内に点在しているが、ひかり園は他施設と比べ以前は地域との交流が盛んだった。新型コロナ禍により途切れてしまったが、以前の状態に近づけるよう努めていきたい。

5 その他

今回は第1回目ということで施設の概要を説明させてもらったが、次回は当園の支援の取り組みの報告や災害計画等の説明を考えている。